

令和6年度 学校教育自己診断

【生徒】（資料2－①参照）

- 「進路指導」「人権教育」「教育相談」については。すべての項目で生徒の肯定的回答割合は増加した。
 - ・特に「進路指導」については、今年度は91.4%という高数値であり、本校の進路指導の丁寧かつ的確な対応が生徒の満足度につながったと思われる。総合学科としてキャリア教育に力を入れてきたことも数値を上げた要因と思われる。
 - ・「一人一台端末を効果的に利用している」の項目について、肯定的回答は前年度から2.5%上昇し92.2%となる非常に高い数値である。
 - ・「先生は授業でわからないことについて丁寧に教えてくれる」の項目について、同じく1.8%増加し86.3%になる。
 - ・「授業はわかりやすく楽しい」の項目についても0.4%と若干であるが上昇した。今後も生徒が意欲的に取り組む工夫をする。
 - ・今年度新しい項目に「学校で、事件、事故、地震が起こった場合どう行動したらよいか知らされている」の項目が92.2%という高数値になった。これからも安全安心な学校であり続ける努力が必要である。
- 全体として80%を超える項目が増えており、生徒が活動していく中で満足のいく教育活動をこれからも続けていきたい。
- 「生徒指導」については昨年よりも0.6%減少しているので、生徒対応について、きめ細やかに整えていく必要がある。
- 「自主活動」については3.4%上昇している。今後も部活動・生徒会活動をもっと活発にしていこうサポートしていきたい。
 - ・「文化祭・体育祭は楽しく行えるよう工夫している」の項目は7.8%上昇した。
- 「教育相談」に関してはSC・SSWを活用した教育相談体制をとっており、保健室と教育相談委員会とも連携をとりながら、生徒一人一人の気持ちに寄り添い対応していくことで生徒の肯定率が5.0%増加した。

【保護者】（資料2－②参照）

- 「授業参観・学校行事への参加」

昨年度よりは14%増加し65.5%に到達した。数値は年々増加しており、保護者の学校に対する関心が年々高まっていることがわかる。これからも公開授業週間の実施や行事について保護者が参加しやすいようにしたい。
- 「進路指導」「教育相談」「自主活動」などにおいても数値が上昇しており、本校が保護者から期待されていることがわかる。今後も努力することが必要

である。

- 「全般」においては、4.3%減少したが、80%以上の数値を継続しており、保護者に「東住吉総合に入学させてよかった」とさらに感じてもらえるように、学校教育を充実させていく。
- 全体的に数値が昨年度より 2.1%増加した。これからも学校として真摯に生徒と向き合い、保護者と連携をとることが一層必要であるとする。

【教職員】（資料2-③参照）

○肯定的回答の割合が増加した主な項目

- ・「学校内で教員の授業を見学する機会がある」：11.8%増加、77.6%
- ・「教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」：6.8%増加、67.3%
- ・「学校行事が生徒にとって魅力的なものとなるよう、工夫、改善を行っている」：4.5%増、75.5%

○肯定的回答が減少した主な項目は

- ・「生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っていない」：11.3%減少
- ・「教育活動に必要な情報について、生徒保護者や地域への周知に努めている」：10.2%減少
- ・「各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している」5.4%減

○今後もこの数値をしっかり受け止め教職員同士の連携を改善していき、コミュニケーション重視の学校運営をめざす。

【まとめ】

今後も教育活動に必要な情報については生徒・保護者へのスピーディな周知に努めることが必須である。また、本校らしさを大切に、教員、SC、SSWと連携しながら生徒の生活に寄り添ったかわりを大切にしていき、生徒が自身の未来を明るく考えることができるような学校運営をめざし工夫をしていく。

また今後は外部機関と連携させ、いかにキャリア教育を充実したものとするかが進路実現のキーポイントとなると考えられる。急激に社会が変化していく中、生徒たちに求められる能力とは何なのかを考え、指導していくことが学校力につながると考える。今後も本校に対する期待値を保護者・生徒のアンケート数値から読み取り、「学校へ行くことが楽しい」「東住吉総合に行かせてよかった」と思われる学校に、そして生徒たちが課題や困難を解決していくために必要な能力を身につけながら、自身の未来に希望を持って進路実現して欲しいと考える。